



市民ギャラリー

「平和記念展」～平和への願い～


今年、戦後60年となる節目の年です。今回、写真、遺品や平和に関する作文、絵画等を市民の方々のご協力により展示します。

私たちの祖先が築いてこられた貴い歴史と文化の中で日々平和な生活を過せることに感謝し、平和の尊さを語り継ぎ、平和への願い、決意を新たにしたいと思えます。皆様のご来場をお待ちしています。

■期間
8月1日(月)～8月30日(火)
平日の8:30～17:15

■場所 土山支所1階ロビー

■問い合わせ
土山支所 ☎66-1101 FAX66-1564




▲土山支所前にある平和都市宣言の石碑と平和の像“未来”
平和の象徴である鳩を抱き、視線は広島の方角を向いています。

を育ててほしいとの願いから朝宮小学校の5、6年生を対象とした「ササユリ観賞会」が実施されました。この日は天候にも恵まれ、ササユリを鑑賞した後、ササユリを手にした小学生たちは花の香りに顔をうずめ、可憐な花にじつくりと見入りながら、ササユリ



信楽町上朝宮区では近い将来、昔のように朝宮のいたるところでササユリが咲き誇り、無数のホタルが光を放ち飛び交う情緒あるふるさとをめざして、13年度から上朝宮環境ルネッサンスを合言葉にいい顔、つくり事業の一環として『ささゆりとホタルの里づくり』という取り組みをされておられます。

この取り組みでは、広報委員会によるふるさと通信の発行、ササユリの群生地を指定、バイオ技術による増殖、ホタルの発生場所の調査による分布図の作成、信楽川改修工事にかかる意見交換会の実施などを行って来られました。

6月24日(金)には、郷土を愛する心を

のようにきれいな笑顔を浮かべていました。

12月には、朝宮小学校生で生徒一人ひとりに球根が託され育てられる予定です。来年には今日見たようなきれいなササユリを咲かせてくれることでしょう。そして近い将来、小学生たちが大きくなる頃にはササユリが咲き誇る郷土になることを期待したいものです。

ちなみに「ササユリが群生で咲いているは、県下でもめずらしく、ここまでのものは初めて見ました。」とササユリの育成指導をされている滋賀県農業技術振興センターの方々も驚いておられました。

ささゆり観賞会 実施される！



♪お子さんには風船のプレゼント



この実習は地場産業の後継者育成を目的に約20年前から甲賀町薬業会が主催となり行われているものです。

実習には甲南高校薬業科の1年から3年までの11名が4グループにわかれ、薬業会所属の事業者とともに得意先を訪問しました。生徒たちは配置薬品の配置箱への入れ替えや集金などを体験しました。最初は緊張からか挨拶もう

貴重な体験を大きな財産に

〜甲南高校生配置売薬体験実習〜



♪明細書なども自らチェックしました

まくできなかったようですが、次第に慣れてくると自然と笑顔も出てきて、地域の方との信頼関係も築け、実りあるものとなりました。

実習を終えた生徒からは「配置薬品の入れ替え作業をしながらの会話は難しかった」「信頼関係を築けば、おもしろい仕事だと感じた」と感想を話していました。薬業会の橋本会長からの言葉にもあるように「今日の貴重な体験をこれからの人生の大きな財産にしてください。」

ポニーがやって来たよ

〜伴谷幼稚園・貴生川幼稚園にポニー来園〜

水口乗馬クラブから2頭のポニーが伴谷幼稚園、貴生川幼稚園にやってきました。名前は「はちべえ」と「レース」。

「はちべえ」の背中に乗りパカパカと園庭を1周、「レース」にはにんじんを食べさせてあげました。最初は怖がっていた園児も次第に仲良くなり、進んで2頭に歩み寄っていました。

「はちべえ」と「レース」もこんなにたくさんの園児と一緒に遊んだのは久しぶり、ちょっと疲れたかな。でも園児を背中に乗せて歩く姿は少し満足げ、にんじんもたくさん食べられたし…。

動物との触れ合いを通じて命の大切さと誰もが仲良くすることを学んだ日となったようです。



♪はちべえの背中に揺られ園庭を1周



♪レースにはにんじんをたくさんあげました



④今日は来てくれてどうもありがとう

⑦早く元気になってね



早く元気になるってね

〜貴生川保育園の園児が水口市民病院へ〜

七夕を前にした7月1日(金)

貴生川保育園の園児が笹飾りを持って水口市民病院を訪れました。

到着した園児たちはさつそくみんなで願い事を書いた短冊が飾りつけてある笹を患者さん代表に「早く元気になるってください」と手渡すと患者さんからも「どうもありがとう」とお礼とともに記念品が贈られました。

また園児たちや患者さんからは「七夕」や「ふるさと」などの歌が披露され、患者さんも元気な園児たちのパワーをもらったようです。
この日の園児たちの願い事がどうかかかりますように。



毎日を健康に

〜第19回甲賀地域連絡協議会ゲートボール大会〜

好天に恵まれた6月24日(金)、土山町民グラウンドで行われたこの大会は、ゲートボールを通じ、会員相互の親睦と技術向上、また日々の健康と体力増進を図ることを目的に開催されたものです。

この日の開会式では松井永一大会長の挨拶、各町7名の方々の功労者表彰などで幕が開け、約450人の会員が15コートに別れて試合が行われました。

皆さん楽しくさわやかな思い出に残る有意義な一日だったようです。

これからもゲートボールの普及と、地域社会づくりのためにますます活躍されることが期待されます。

結果は次のとおりです。

- 優勝 拝坂(甲賀町)
- 第3位 土山北部(土山町)
- 第2位 大原市場(甲賀町)
- 第4位 毛枚(甲賀町)



⑤さあこれから試合開始です



⑥どのチームも優勝めざしてがんばっておられました



思い出の階段で記念撮影

たくさんの思い出ありがとう

小原小学校木造校舎お別れ会

現在の木造校舎が建てられたのは今から48年前の昭和32年10月15日、これまでに1,314人がこの学校を卒業しました。長い間たくさんの児童を見守ってきたこの木造校舎も老朽化から今年度新しく立て替えられることになりました。

6月24日(金)のお別れ会では校長先生から「私は小学校5年生の時に新しいこの木造校舎で勉強したことを覚えています。今日はみんなと同じで木造校舎にありがとう、という気持ちでいっぱいです。」と挨拶がありました。

各学年からは「階段のギシギシという音が好き」「裏山から見える赤い屋根の校舎が好き」といった思い出を寸劇や絵などで発表しました。また「父が40年前の卒業生で、その当時のご飯給食はなく、すべてパン給食だった」とご両親から聞いた昔話の発表もありました。

これまでいくつもの思い出をたくさんつくってくれた木造校舎、いままで本当にありがとう。



学校生活での思い出を各学年から発表



裏山から見える赤い屋根の木造校舎

いっぱい思い出を発表したよ



クイズに夢中です



「少し寂しいけど、なぐなぐいおたなめ」
たり前
だった
けど、な
くなる
いおたなめ」
少し寂

7月1日(金)、児童会恒例の夏のつどいが行われました。企画委員会の司会でゲームやクイズを楽しんだ後、各クラスごとに発表をしました。
二期頑張ったこと、の1年生から始まり、2年生以降は二期から取り壊される現校舎や町民体育館の絵や作文を発表しました。「今までは当

いけど、新しくなるのは楽しみ」など学年に応じた様々な思いが飛び交いました。
勉学に励み、友情を深めた校舎も現在は37歳。子どもたちのお気に入りの坂下公園とともに一新されるようですが、思い出深い学び舎は、いつまでもみんなの心の中に残っていくことでしょう。

ありがとう、校舎さん

貴生川小学校夏のつどい

寄稿者◎まちかど特派員 杉山祐子(水口町)



たくさんの思い出がよみがえってきます